

事務事業名	道路維持補修事業	所属部	建設部	所属課	業務管理課	
総合計画体系的	政策名	〈Ⅱ〉環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり〈定住環境〉	所属G	維持管理G	課長名	菅田 雅人
	施策名	〈07〉道路網の整備	担当者名	昌子 真二	電話番号	0854-40-1061
	目的	对生活道路(市道・一般県道)の利用者	意図	市内を安全で迅速に移動できるようにする。	(内線)	3731
	基本事業名	〈019〉道路の補修・維持管理	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 4 0 0 2 項 目 中事業 中事業名 1 0 1 0 0 1	道路施設管理事業 道路維持補修事業	
目的	对生活道路	意図	適正に維持管理する。			

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
各センター毎に実施する。 ①舗装、ガードレール等道路施設の破損等に関する情報受付。(自治会、土木委員、道路利用者等からの通報) ②現地確認 ③直営、業者委託・請負等による修繕作業の実施。④予算執行:作業員賃金、資材費、作業委託・請負費等の修繕経費の支出。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動)	25年度計画(25年度に計画する主な活動)			
		6センター毎の道路維持修繕事業の実施	6センター毎の道路維持修繕事業の実施			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア 修繕要望箇所	件	960	1,300	830	850
	イ 修繕実施箇所	件	489	845	503	500
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	・市道利用者 ・雲南市道(センター事業管理課では、市道以外の農道、林道も含め管理)	ア 雲南市市道延長	km	1,155	1,155	1,151	1,157
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
老朽化、破損、支障雑木の撤去等、道路の維持修繕を必要とする道路の現況状態への復旧。	ア 要望箇所に対する修繕実施率	%	50.9	65.0	60.6	58.8	
	イ 生活道路で危ない場所があると感じている市民の割合	%	70.4	70.8	72.5	72.5	
	ウ 生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合	%	57.1	55.7	56.9	56.9	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)	
各総合センター内訳 【大東】 28,061千円 【加茂】 10,169千円 【木次】 22,478千円 【三刀屋】 15,175千円 【吉田】 21,901千円 【掛合】 15,630千円	財源内訳	国庫支出金	千円		95,500		
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円			14	26
	一般財源	千円	51,344	51,222	113,400	53,009	
	事業費計(A)	千円	51,344	146,722	113,414	53,035	
	人件費	正規職員従事人数	人	27	27	25	
		延べ業務時間	時間	520	500	700	
		人件費計(B)	千円	2,022	1,971	2,743	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	53,366	148,693	116,157		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
雲南市の道路維持は、改善要望に対して充分応えることが出来ない。安全確保のための必要性が高いものから順に補修、修繕作業を行っている。道路維持修繕は地域要望の中で最も多いものとなっている。また、多くの構造物が更新時期となっており、今後、更に事業費が必要となっている。	予算的制約から要望に対する維持補修の実施は十分行き届いていない。維持を怠ると、安全性の後退だけではなく、抜本修繕時期が早まり、後の経費負担の増大等の悪循環が生ずるため改善を求めている。	市民から危険箇所等多数の改善要望。議会から維持修繕の重要性と着実な実施の指摘がある。

事務事業名	道路維持補修事業	所属部	建設部	所属課	業務管理課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合⇒
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合⇒
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合⇒
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 合併後、類似団体より低い予算で道路維持補修を実施している。そのため、地域の要望に対し、安全快適性が確保できない状態が発生している。ただし、平成25年度より別枠で道路安全確保維持修繕事業が確保された。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 廃止すれば、道路管理者が無関与のまま、前述した安全面の後退や、財産としての道路施設の老朽破損が進む。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由 市道、林道、農道の日常修繕業務は、センター事業管理課が一括対応しており、既に統合の形態が取られている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 舗装、ガードレール等の修繕等、技術や機械設備を要する業務は、今後も業者委託・請負が基本となる。一方、路肩除草等で、地域団体へ協力を求める事が可能なものは、愛護助成金等の拡充を図りながら、地域団体の合意と協力を得て、ボランティア愛護方式や地域への委託方式への移行を検討する。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 ⑧舗装、ガードレール等の修繕等、技術や機械設備を要する業務は、今後も業者委託・請負が基本となる。また、道路構造物の老朽化に伴う修繕の増加及び住民からの修繕要望ヶ所も増加しているため人員体制的な縮小は困難な状況にある。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 公道の維持管理業務であり、一部の受益者に偏った事業実施ではない。特に、旧町村間の修繕実施状況のバラツキが生じないよう、6センター間の予算配分の際、道路延長、交通量、積雪補正等の状況を勘案し、予算配分の面でも公平、公正が保たれるよう配慮を行っている。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	機械設備を要する修繕は、今後も業者委託・請負が基本となるが、草刈り等の軽微な道路維持は、愛護助成金等の拡充を図りながら、ボランティア愛護方式や地域への委託方式への移行を進める。また、平成24年度は公共施設リフレッシュ事業により草刈り、舗装の穴埋め等を実施した。今後、道路維持修繕の必要性は今まで以上に高まっていく。
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上		●	維持		×	低下	×	×
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上		●																
	維持		×																
	低下	×	×																
<p>平成24年度に策定した「道路維持管理計画」に基づき、一定規模以上の維持修繕は、平成25年度以降、別途予算により修繕対応を図る。 公共施設リフレッシュ事業の代替事業として、道路維持修繕実施事業により、草刈等の維持業務を実施する。</p>																			